

第 75 回 医療法人湘美会認定再生医療等委員会

審査等業務の過程に関する記録

2025 年 6 月 13 日

第 75 回 医療法人湘美会 認定再生医療等委員会 議事録

委員会開催日時	2025 年 6 月 13 日 18 時～19 時
場所	医療法人湘美会 中会議室 L
項目	☐ 新規審査 ☒ 定期報告 ☐ 疾病等報告 ☐ その他
議題	提供計画定期報告審査
再生医療等提供計画 を提出した医療機関 の名称 管理者名	湘南美容クリニック上野院 管理者 金澤 紀臣
資料受領日	2025 年 5 月 11 日
委員	出欠 構成要件 所属法人 氏名 性別 当会との利害関係 ☒ 委員長（医学・医療） 医療法人社団孝和会 阿部 吉伸 男 無 ☒ 委員（法律・生命倫理） SBC メディカルグループ株式会社 岡本 高太郎 男 無 ☒ 委員（医学・医療） 医療法人湘美会 新明 康宏 男 有 ☒ 委員（一般） SBC メディカルグループ株式会社 山本 亜紀 女 無 ☒ 委員（医療・医学） 医療法人社団リッツ美容外科 居川 和広 男 無 当該医療機関と利害関係を有する者：新明 康宏（省令六十五条一項各号には該当しない） ※☒は参加者
各委員議事内容	【本日議題】 湘南美容クリニック上野院 自家多血小板血漿（PRP）を用いた皮膚の再生を目的とした治療 審査書類を事前に事務局のチェック、委員のメンバーにおいても共有・事前チェックを行った。 WEB 会議システムの ZOOM を併用し、双方向にて過不足なく議事が行えることを確認、審査議事に入った。 安全性評価において、38 件の全投与件数において、本再生医療に関する重篤な疾病及び健康被害等は発生しなかった。よって、本施術の安全性について問題ないと評価することに対して委員より異論はなかった。 科学的妥当性について、提供計画の通り、再生医療として整形外科領域や皮膚科領域で実施され、患者からの効果も実感されており、大きな副作用等も見受けられないため、充分科学的妥当性はあると認識しているとの意見に対し、事前に提出された医師の評価および患者満足度評価をもとに審議した結果、医師の評価および患者満足度ともに優位に働いており当該報告に対し委員より異論はなかった。 安全性・科学的妥当性いずれも問題は無く、全会一致で本定期報告は適切と決した。
結論およびその理由	安全性評価において、38 件の全投与件数において、本再生医療に関する重篤な疾病及び健康被害等は発生しなかった。よって、本施術の安全性について問題ないと評価することに対して委員より異論はなかった。 科学的妥当性について、提供計画の通り、再生医療として整形外科領域や皮膚科領域で実施され、患者からの効果も実感されており、大きな副作用等も見受けられないため、充分科学的妥当性はあると認識しているとの意見に対し、事前に提出された医師の評価および患者満足度評価をもとに審議した結果、医師の評価および患者満足度ともに優位に働いており当該報告に対し委員より異論はなかった。 安全性・科学的妥当性いずれも問題は無く、全会一致で本定期報告は適切と決した。

第 75 回 医療法人湘美会 認定再生医療等委員会 議事録

委員会開催日時	2025 年 6 月 13 日 18 時～19 時
場所	医療法人湘美会 中会議室 L
項目	☐ 新規審査 ☒ 定期報告 ☐ 疾病等報告 ☐ その他
議題	提供計画 定期報告審議
再生医療等提供計画 を提出した医療機関 の名称 管理者名	湘南美容クリニック仙台院 管理者 田中龍二
資料受領日	2025 年 5 月 8 日
委員	出欠 構成要件 所属法人 氏名 性別 当会との利害関係 ☒ 委員長（医学・医療） 医療法人社団孝和会 阿部 吉伸 男 無 ☒ 委員（法律・生命倫理） SBC メディカルグループ株式会社 岡本 高太郎 男 無 ☒ 委員（医学・医療） 医療法人湘美会 新明 康宏 男 有 ☒ 委員（一般） SBC メディカルグループ株式会社 山本 亜紀 女 無 ☒ 委員（医療・医学） 医療法人社団リッツ美容外科 居川 和広 男 無 当該医療機関と利害関係を有する者：新明 康宏（省令六十五条一項各号には該当しない） ※☒は参加者
各委員議事内容	【本日議題】 湘南美容クリニック仙台院 脂肪組織由来再生（幹）細胞を用いた顔面及び胸部軟部組織移植術 審査書類を事前に事務局のチェック、委員のメンバーにおいても共有・事前チェックを行った。 WEB 会議システムの ZOOM を併用し、双方向にて過不足なく議事が行えることを確認、審査議事に入った。 当該管理者より、事前に提出された 15 件の医師の評価および顧客満足度の提出統計データ元に審査を行った。 合わせて昨年計画の変更があった脂肪組織由来幹細胞とリジェネラの併用の状況の報告をうけた。 本報告期間にはリジェネラを併用しての治療実施は無いとのことであった。 委員からは継続してリジェネラを併用した場合の安全性および科学的妥当性を分けて評価すべきとの意見があり他の委員よりも異論はなかった。 安全性評価において実施 15 例に対し本治療の提供に起因する重篤な疾病及び健康被害等は発生していない為安全性について問題ないとする評価に対し、委員より特段異論はなかった。 科学的妥当性において委員は事前に提出された医師の評価及び顧客満足度の統計データを確認し、整形外科領域や皮膚科領域で実施されており、患者からの効果も実感されている為科学的妥当性があるとの医師の評価に対し、委員より顧客満足度が平均 5 段階中 3.7 と優位に推移している為継続には異論はないが、個別には患者評価が低い患者もいるので、その原因については調査検討していくべきとの意見があった。 別の委員より引き続き治療の実施に際し、異論はないが、定着率の向上が本再生医療の目的と考えられる為、他の術式との比較考慮も実施した方がよいとの意見があり、他の委員からも異論はなかった。本日出た意見を管理者へ進言することとし、委員長は委員に採決を取り、全会一致で本定期報告は妥当であり治療の継続において問題ないと決した。
結論およびその理由	本提治療の提供に係る評価は適切であり、全会一致で本治療を継続する事について問題が無いと決した為

第 75 回 医療法人湘美会 認定再生医療等委員会 議事録

委員会開催日時	2025 年 6 月 13 日 18 時～19 時
場所	医療法人湘美会 中会議室 L
項目	☐ 新規審査 ☒ 定期報告 ☐ 疾病等報告 ☐ その他
議題	提供計画定期報告審査
再生医療等提供計画 を提出した医療機関 の名称 管理者名	湘南美容クリニック六本木院 管理者 木村 竹男
資料受領日	2025 年 5 月 11 日
委員	出欠 構成要件 所属法人 氏名 性別 当会との利害関係 ☒ 委員長（医学・医療） 医療法人社団孝和会 阿部 吉伸 男 無 ☒ 委員（法律・生命倫理） SBC メディカルグループ株式会社 岡本 高太郎 男 無 ☒ 委員（医学・医療） 医療法人湘美会 新明 康宏 男 有 ☒ 委員（一般） SBC メディカルグループ株式会社 山本 亜紀 女 無 ☒ 委員（医療・医学） 医療法人社団リッツ美容外科 居川 和広 男 無 当該医療機関と利害関係を有する者：（省令六十五条一項各号には該当しない） ※☒は参加者
各委員議事内容	【本日議題】 湘南美容クリニック六本木院 自家多血小板血漿（PRP）を用いた皮膚の再生を目的とした治療 審査書類を事前に事務局のチェック、委員のメンバーにおいても共有・事前チェックを行った。 WEB 会議システムの ZOOM を併用し、双方向にて過不足なく議事が行えることを確認、審査議事に入った。 期間中提供が無なかったこと、および診療所廃止により今後提供は行わない事を委員は確認し、特段異論はなかった。全会一致で当期間の報告は適切であると決した。
結論およびその理由	期間中提供が無なかったこと、および診療所廃止により今後提供は行わない事を委員は確認し、特段異論はなかった。全会一致で当期間の報告は適切であると決した為

第 75 回 医療法人湘美会 認定再生医療等委員会 議事録

委員会開催日時	2025 年 6 月 13 日 18 時～19 時
場所	医療法人湘美会 中会議室 L
項目	☐ 新規審査 ☒ 定期報告 ☐ 疾病等報告 ☐ その他
議題	提供計画定期報告審査
再生医療等提供計画 を提出した医療機関 の名称 管理者名	湘南美容クリニック千葉センシティ院 管理者 高橋淳
資料受領日	2025 年 5 月 12 日
委員	出欠 構成要件 所属法人 氏名 性別 当会との利害関係 ☒ 委員長（医学・医療） 医療法人社団孝和会 阿部 吉伸 男 無 ☒ 委員（法律・生命倫理） SBC メディカルグループ株式会社 岡本 高太郎 男 無 ☒ 委員（医学・医療） 医療法人湘美会 新明 康宏 男 有 ☒ 委員（一般） SBC メディカルグループ株式会社 山本 亜紀 女 無 ☒ 委員（医療・医学） 医療法人社団リッツ美容外科 居川 和広 男 無 当該医療機関と利害関係を有する者：阿部 吉伸（省令六十五条一項各号には該当しない） ※☒は参加者
各委員議事内容	【本日議題】 湘南美容クリニック千葉センシティ院 自家多血小板血漿（PRP）を用いた皮膚の再生を目的とした治療 審査書類を事前に事務局のチェック、委員のメンバーにおいても共有・事前チェックを行った。 WEB 会議システムの ZOOM を併用し、双方向にて過不足なく議事が行えることを確認、審査議事に入った。 安全性評価において、18 件の全投与件数において、本再生医療に関する重篤な疾病及び健康被害等は発生しなかった。よって、本施術の安全性について問題ないと評価することに対して委員より異論はなかった。 科学的妥当性について、提供計画の通り、再生医療として整形外科領域や皮膚科領域で実施され、患者からの効果も実感されており、大きな副作用等も見受けられないため、充分科学的妥当性はあると認識しているとの意見に対し、事前に提出された医師の評価および患者満足度評価をもとに審議した結果、医師の評価および患者満足度ともに優位に働いており当該報告に対し委員より異論はなかった。 安全性・科学的妥当性いずれも問題は無く、全会一致で本定期報告は適切と決した。
結論およびその理由	安全性評価において、18 件の全投与件数において、本再生医療に関する重篤な疾病及び健康被害等は発生しなかった。よって、本施術の安全性について問題ないと評価することに対して委員より異論はなかった。 科学的妥当性について、提供計画の通り、再生医療として整形外科領域や皮膚科領域で実施され、患者からの効果も実感されており、大きな副作用等も見受けられないため、充分科学的妥当性はあると認識しているとの意見に対し、事前に提出された医師の評価および患者満足度評価をもとに審議した結果、医師の評価および患者満足度ともに優位に働いており当該報告に対し委員より異論はなかった。 安全性・科学的妥当性いずれも問題は無く、全会一致で本定期報告は適切と決した。

第 75 回 医療法人湘美会 認定再生医療等委員会 議事録

委員会開催日時	2025 年 6 月 13 日 18 時～19 時
場所	医療法人湘美会 中会議室 L
項目	☐ 新規審査 ☒ 定期報告 ☐ 疾病等報告 ☐ その他
議題	提供計画定期報告審査
再生医療等提供計画 を提出した医療機関 の名称 管理者名	湘南美容クリニック品川院 管理者 本田 賢治
資料受領日	2025 年 5 月 11 日
委員	出欠 構成要件 所属法人 氏名 性別 当会との利害関係 ☒ 委員長（医学・医療） 医療法人社団孝和会 阿部 吉伸 男 無 ☒ 委員（法律・生命倫理） SBC メディカルグループ株式会社 岡本 高太郎 男 無 ☒ 委員（医学・医療） 医療法人湘美会 新明 康宏 男 有 ☒ 委員（一般） SBC メディカルグループ株式会社 山本 亜紀 女 無 ☒ 委員（医療・医学） 医療法人社団リッツ美容外科 居川 和広 男 無 当該医療機関と利害関係を有する者：新明 康宏（省令六十五条一項各号には該当しない） ※☒は参加者
各委員議事内容	【本日議題】 湘南美容クリニック品川院 自家多血小板血漿（PRP）を用いた皮膚の再生を目的とした治療 審査書類を事前に事務局のチェック、委員のメンバーにおいても共有・事前チェックを行った。 WEB 会議システムの ZOOM を併用し、双方向にて過不足なく議事が行えることを確認、審査議事に入った。 期間中提供が無いということで、委員より今後も実施しないのであれば終了も検討するようにとの意見が上がり、その他特段異見はなかった。 全会一致で当期間の報告は適切であると決した。
結論およびその理由	計画継続に対して委員より特段異論はなく、全会一致で当期間の報告は適切であると決した為

第 75 回 医療法人湘美会 認定再生医療等委員会 議事録

委員会開催日時	2025 年 6 月 13 日 18 時～19 時
場所	医療法人湘美会 中会議室 L
項目	☐ 新規審査 ☒ 定期報告 ☐ 疾病等報告 ☐ その他
議題	提供計画定期報告審査
再生医療等提供計画 を提出した医療機関 の名称 管理者名	湘南美容クリニック柏院 管理者 中谷拓
資料受領日	2025 年 5 月 10 日
委員	出欠 構成要件 所属法人 氏名 性別 当会との利害関係 ☒ 委員長（医学・医療） 医療法人社団孝和会 阿部 吉伸 男 無 ☒ 委員（法律・生命倫理） SBC メディカルグループ株式会社 岡本 高太郎 男 無 ☒ 委員（医学・医療） 医療法人湘美会 新明 康宏 男 有 ☒ 委員（一般） SBC メディカルグループ株式会社 山本 亜紀 女 無 ☒ 委員（医療・医学） 医療法人社団リッツ美容外科 居川 和広 男 無 当該医療機関と利害関係を有する者：新明 康宏（省令六十五条一項各号には該当しない） ※☒は参加者
各委員議事内容	【本日議題】 湘南美容クリニック柏院 自家多血小板血漿（PRP）を用いた皮膚の再生を目的とした治療 審査書類を事前に事務局のチェック、委員のメンバーにおいても共有・事前チェックを行った。 WEB 会議システムの ZOOM を併用し、双方向にて過不足なく議事が行えることを確認、審査議事に入った。 安全性評価において、3 件の全投与件数において、本再生医療に関する重篤な疾病及び健康被害等は発生しなかった。よって、本施術の安全性について問題ないと評価することに対して委員より異論はなかった。 科学的妥当性について、提供計画の通り、再生医療として整形外科領域や皮膚科領域で実施され、患者からの効果も実感されており、大きな副作用等も見受けられないため、充分科学的妥当性はあると認識しているとの意見に対し、事前に提出された医師の評価および患者満足度評価をもとに審議した結果、医師の評価は優位だが、患者満足度はバラつきがあるため引き続き安全に配慮しながら実施、評価するようにとの意見があった。その他異論はなかった。 委員長は委員に採決をとり、安全性・科学的妥当性いずれも問題は無く、全会一致で本定期報告は適切と決した。
結論およびその理由	安全性評価において、3 件の全投与件数において、本再生医療に関する重篤な疾病及び健康被害等は発生しなかった。よって、本施術の安全性について問題ないと評価することに対して委員より異論はなかった。 科学的妥当性について、提供計画の通り、再生医療として整形外科領域や皮膚科領域で実施され、患者からの効果も実感されており、大きな副作用等も見受けられないため、充分科学的妥当性はあると認識しているとの意見に対し、事前に提出された医師の評価および患者満足度評価をもとに審議した結果、医師の評価は優位だが、患者満足度はバラつきがあるため引き続き安全に配慮しながら実施、評価するようにとの意見があった。その他異論はなかった。 委員長は委員に採決をとり、安全性・科学的妥当性いずれも問題は無く、全会一致で本定期報告は適切と決した為。

第 75 回 医療法人湘美会 認定再生医療等委員会 議事録

委員会開催日時	2025 年 6 月 13 日 18 時～19 時
場所	医療法人湘美会 中会議室 L
項目	☐ 新規審査 ☒ 定期報告 ☐ 疾病等報告 ☐ その他
議題	提供計画定期報告審査
再生医療等提供計画 を提出した医療機関 の名称 管理者名	湘南美容クリニック浜松院 管理者 小泉 佑太
資料受領日	2025 年 5 月 12 日
委員	出欠 構成要件 所属法人 氏名 性別 当会との利害関係 ☒ 委員長（医学・医療） 医療法人社団孝和会 阿部 吉伸 男 無 ☒ 委員（法律・生命倫理） SBC メディカルグループ株式会社 岡本 高太郎 男 無 ☒ 委員（医学・医療） 医療法人湘美会 新明 康宏 男 有 ☒ 委員（一般） SBC メディカルグループ株式会社 山本 亜紀 女 無 ☒ 委員（医療・医学） 医療法人社団リッツ美容外科 居川 和広 男 無 当該医療機関と利害関係を有する者：（省令六十五条一項各号には該当しない） ※☒は参加者
各委員議事内容	【本日議題】 湘南美容クリニック浜松院 自家多血小板血漿（PRP）を用いた皮膚の再生を目的とした治療 審査書類を事前に事務局のチェック、委員のメンバーにおいても共有・事前チェックを行った。 WEB 会議システムの ZOOM を併用し、双方向にて過不足なく議事が行えることを確認、審査議事に入った。 安全性評価において、81 件の全投与件数、本再生医療に関する重篤な疾病及び健康被害等は発生しなかったこと本施術の安全性について問題ないと評価するという意見に対し、委員より実施件数も多く異常増殖時は早期処置が肝要で患者の説明と経過観察を丁寧に行うようにとの意見が上がった。その他委員より異論はなかった。 科学的妥当性について、提供計画の通り、再生医療として整形外科領域や皮膚科領域で実施され、患者からの効果も実感されており、大きな副作用等も見受けられないため、充分科学的妥当性はあると認識しているとの意見に対し、事前に提出された医師の評価および患者満足度評価をもとに審議した結果、医師の評価および患者満足度ともに優位に働いており当該報告に対し委員より異論はなかった。 安全性・科学的妥当性いずれも問題は無く、全会一致で本定期報告は適切と決した。
結論およびその理由	安全性評価において、81 件の全投与件数において、本再生医療に関する重篤な疾病及び健康被害等は発生しなかったことにより本施術の安全性について問題ないと評価することに対して委員より異論はなかった。 科学的妥当性について、提供計画の通り、再生医療として整形外科領域や皮膚科領域で実施され、患者からの効果も実感されており、大きな副作用等も見受けられないため、充分科学的妥当性はあると認識しているとの意見に対し、事前に提出された医師の評価および患者満足度評価をもとに審議した結果、医師の評価および患者満足度ともに優位に働いており当該報告に対し委員より異論はなかった。 安全性・科学的妥当性いずれも問題は無く、全会一致で本定期報告は適切と決した。

第 75 回 医療法人湘美会 認定再生医療等委員会 議事録

委員会開催日時	2025 年 6 月 13 日 18 時～19 時
場所	医療法人湘美会 中会議室 L
項目	☐ 新規審査 ☒ 定期報告 ☐ 疾病等報告 ☐ その他
議題	提供計画定期報告審査
再生医療等提供計画を提出した医療機関の名称 管理者名	湘南美容クリニック藤沢院 管理者 山下 昭悟
資料受領日	2025 年 5 月 12 日
委員	出欠 構成要件 所属法人 氏名 性別 当会との利害関係 ☒ 委員長（医学・医療） 医療法人社団孝和会 阿部 吉伸 男 無 ☒ 委員（法律・生命倫理） SBC メディカルグループ株式会社 岡本 高太郎 男 無 ☒ 委員（医学・医療） 医療法人湘美会 新明 康宏 男 有 ☒ 委員（一般） SBC メディカルグループ株式会社 山本 亜紀 女 無 ☒ 委員（医療・医学） 医療法人社団リッツ美容外科 居川 和広 男 無 当該医療機関と利害関係を有する者：阿部 吉伸（省令六十五条一項各号には該当しない） ※☒は参加者
各委員議事内容	【本日議題】 湘南美容クリニック藤沢院 自家多血小板血漿（PRP）を用いた皮膚の再生を目的とした治療 審査書類を事前に事務局のチェック、委員のメンバーにおいても共有・事前チェックを行った。 WEB 会議システムの ZOOM を併用し、双方向にて過不足なく議事が行えることを確認、審査議事に入った。 安全性評価において、158 件の全投与件数、本再生医療に関する重篤な疾病及び健康被害等は発生しなかった。また、期間中 4 件、患者より投与部位のふくらみが気になるとの申し出があったが、適切な処置により改善している。以上により本施術の安全性について問題ないと評価するという意見に対し委員より実施件数も多く異常増殖時は早期処置が肝要で患者の説明と経過観察を丁寧に行うようにとの意見が上がった。その他委員より異論はなかった。 科学的妥当性について、提供計画の通り、再生医療として整形外科領域や皮膚科領域で実施され、患者からの効果も実感されており、大きな副作用等も見受けられないため、充分科学的妥当性はあると認識しているとの意見に対し、事前に提出された医師の評価および患者満足度評価をもとに審議した結果、医師の評価および患者満足度ともに優位に働いており当該報告に対し委員より異論はなかった。安全性・科学的妥当性いずれも問題は無く、全会一致で本定期報告は適切と決した。
結論およびその理由	安全性評価において、158 件の全投与件数において、本再生医療に関する重篤な疾病及び健康被害等は発生せず、軽微な疾病も適切な処置により改善しているとして本施術の安全性について問題ないと評価することに対して委員より異論はなかった。 科学的妥当性について、提供計画の通り、再生医療として整形外科領域や皮膚科領域で実施され、患者からの効果も実感されており、大きな副作用等も見受けられないため、充分科学的妥当性はあると認識しているとの意見に対し、事前に提出された医師の評価および患者満足度評価をもとに審議した結果、医師の評価および患者満足度ともに優位に働いており当該報告に対し委員より異論はなかった。安全性・科学的妥当性いずれも問題は無く、全会一致で本定期報告は適切と決した。

第 75 回 医療法人湘美会 認定再生医療等委員会 議事録

委員会開催日時	2025 年 6 月 13 日 18 時～19 時
場所	医療法人湘美会 中会議室 L
項目	☐ 新規審査 ☒ 定期報告 ☐ 疾病等報告 ☐ その他
議題	提供計画定期報告審査
再生医療等提供計画 を提出した医療機関 の名称 管理者名	湘南美容クリニック銀座院 管理者 葛島 魁人
資料受領日	2025 年 5 月 11 日
委員	出欠 構成要件 所属法人 氏名 性別 当会との利害関係 ☒ 委員長（医学・医療） 医療法人社団孝和会 阿部 吉伸 男 無 ☒ 委員（法律・生命倫理） SBC メディカルグループ株式会社 岡本 高太郎 男 無 ☒ 委員（医学・医療） 医療法人湘美会 新明 康宏 男 有 ☒ 委員（一般） SBC メディカルグループ株式会社 山本 亜紀 女 無 ☒ 委員（医療・医学） 医療法人社団リッツ美容外科 居川 和広 男 無 当該医療機関と利害関係を有する者：（省令六十五条一項各号には該当しない） ※☒は参加者
各委員議事内容	【本日議題】 湘南美容クリニック銀座院 自家多血小板血漿（PRP）を用いた皮膚の再生を目的とした治療 審査書類を事前に事務局のチェック、委員のメンバーにおいても共有・事前チェックを行った。 WEB 会議システムの ZOOM を併用し、双方向にて過不足なく議事が行えることを確認、審査議事に入った。 安全性評価において、8 件の全投与件数において、本再生医療に関する重篤な疾病及び健康被害等は発生しなかった。よって、本施術の安全性について問題ないと評価することに対して委員より異論はなかった。 科学的妥当性について、提供計画の通り、再生医療として整形外科領域や皮膚科領域で実施され、患者からの効果も実感されており、大きな副作用等も見受けられないため、充分科学的妥当性はあると認識しているとの意見に対し、事前に提出された医師の評価および患者満足度評価をもとに審議した結果、医師の評価および患者満足度ともに優位に働いており当該報告に対し委員より異論はなかった。 安全性・科学的妥当性いずれも問題は無く、全会一致で本定期報告は適切と決した。
結論およびその理由	安全性評価において、8 件の全投与件数において、本再生医療に関する重篤な疾病及び健康被害等は発生しなかった。よって、本施術の安全性について問題ないと評価することに対して委員より異論はなかった。 科学的妥当性について、提供計画の通り、再生医療として整形外科領域や皮膚科領域で実施され、患者からの効果も実感されており、大きな副作用等も見受けられないため、充分科学的妥当性はあると認識しているとの意見に対し、事前に提出された医師の評価および患者満足度評価をもとに審議した結果、医師の評価および患者満足度ともに優位に働いており当該報告に対し委員より異論はなかった。 安全性・科学的妥当性いずれも問題は無く、全会一致で本定期報告は適切と決した。